

第 2 章

慶應クラスのガイダンス

D V D

(旧バージョンの前半)

Guidance DVD

えー、こんにちは。ディジシシステムの牛山です。

今日はね、慶応クラスのガイダンスDVDということで、慶応大学に絶対合格するための学習戦略とは？っていうね、割と大風呂敷を掲げまくったようなねテーマで話をしていきたいと思います。

で、大風呂敷を掲げたとかね自分で言ってますけども。実際ね、慶応大学に合格するサポートというサービスという意味で言うとね、間違いなくウチが日本一というふうだね、僕は思っています。

その大きな理由はね、2つあって。一番大きい理由をね言うと2つあって、えーっとどこかな……

配点表をね、見てもらっても分かりませんが、法学部・経済学部・文学部・商学部とね、英語の配点ももうSPOCももちろん例外ではなくて、ものすごく高いんです。

つまり、慶応大学というのは世間一般ではどういうふうに思われているか分からないですけども、基本的にはね、外国語大学みたいなのと近いところがあります。うん。

この認識。この認識ものすごく重要です。

僕、昔慶応大学行こうっていうふうにいる前は、実はどこ行きたかったかって言うとね、あの……京都外国語大学……とかね。あの偏差値のランキングというのにいっさい載らないんですけども、外国語大学行って将来はね、外国語を使って仕事をしたいなーみたいなね、事を漠然と若いときになーんとなく思っていました。だから英語好きだったんですけど。

えーっとね、今、英語が嫌いな人も大丈夫です。

でね、それからもう一つの理由はね、小論文の配点の高さ、ということね。

慶応大学は他の大学とも全く違うのは、さっきも言ったような英語大学みたいな特色があるっていうのがもう一つ。それが一つと、もう一つは小論文を多分日本一重視する、している大学なんです。

～中略（DVDの中でしかお話できません）～

それはね、何故か分からないけど、2010年度に慶応大学の法科大学院のね合格者、司法試験の合格者が日本一になったことと僕はね、合格者、まあ合格率だったかな？ 日本一になったことと僕は関係していると思います。

つまりは、日本にある全ての大学のなかで、東京大学も含めて、全ての大学の中で一位になったっていうことです。

伝わってます？ 一位ですよ？

司法試験の、要するに司法試験っていうのはね、どれだけ難しいかって今若い人実感ないかもし

れないですけども、日本にある全ての国家試験、まあ要するに国家試験・資格試験全部含めて、全てのあらゆる試験の中で一番難しいんじゃないかって言われていて。

それから、世界で見ても、世界に存在するあらゆる試験の中でも、もしかしたら一番難しいかもしれないというふうに言われています。うん。

ある意味では、だと思えますけどね。

インドのIITに合格するとか、マサチューセッツに合格するとか、ちょっと特殊なね、そんなと比べたら別かもしないけど。それだけ難しい試験ですよ、司法試験っていうのは。

それにある年に日本一合格させたんですね、慶応大学の法科大学院は。

〜中略(DVDの中でしたかお話できません)〜

ぜんぜん、理由は違うかもしれませんが(笑)ただ、一つだけ確かな事は、小論文ができる人間は別の評価基準でお金と時間を投入しても慶應大学側が全力で欲しがっているという事は間違いないです。学力エリートより、この部分に関しては・・・そっちがほしい。これは間違いないですね。

まあまあまあ。それね、あの、ちよつとまあ、関係ない話だけど。

東京大学の法科大学院っていうのはね。うーん、これも小論文をけっこう重要視してるんですよ、うん。

それで、えーつとね。その2つの大きい理由ね。

あの、英語の力を抜群に引き上げるといふことと、それから、もうこれ慶応大学向けのね、力といふふうに出ていいかもしれない、うん。話を端折るためにね。

それから、もうひとつには小論文の力をダントツに引き上げる。

というのは、これは実は配点比率から言つて物凄く重要なところ。そもそも、その配点が高いんだもん、ね。

で、あの、地歴の科目っていうのは、合格するとかしないとかよりも物凄く重要だと思われているんでしよう？ 例えば法学部受験するんです、とか経済学部受験するんです、とか何とか言つて。で、地歴の質が違いますとかレベルが違いますとか、いろいろ自負とかプライドとかもあるかもしれない。でもね、差がつくのかつかないのかと言つたら、つかないかも分からないです、地歴というのは。

問題集を3冊4冊ゴリゴリゴリ死ぬ気で勉強してきた連中と、じゃあ、これから地歴で勝負し

ます、となったときに。じゃあ、どれだけ差がつくのかなというと、もう全然つかない、ね。

(ホワイトボードの図を指して説明)

このイメージ、あります。

半分、英語ですよ、慶応大学っていうのは、ね？

まあ、30%ね。だから、小論、ね。

25%ずつじゃないから、こうじゃないな。25%じゃないから。

でもまあ、こうイメージしやすいように、こうしよっか、ね。小論と地歴でね。

それで、みんな目が行くのはね、ここ。小論文で、ほら書けばいいんでしょ、とか言ってる人いるの。書けばいいんでしょ？ 何か書けば点数ももらえるんじゃない？ みたいなね。

これ、大きな間違いです。

これで、平均点ということ言うと、英語っていうのは帰国子女が慶応大学ものすごく多いのね。それで、差がつくつかないかって言ったら、そういう意味ではつきますけども、英語ができませんっていうのは論外なんです、もう。

つまり、慶応クラスという特色がどうか何と論じる前に、慶応大学受験するのに英語ができな

いってというのは論外です。論外。勝負にならない。レースになつてない。

だから、英語は出来て当たり前なんです。で、今できなくてもいいです。出来るようにします。

(ホワイトボードの図を指して説明)

それで……じゃあ、ということ考えた時に、80%。英語がね、80%。イメージ的にこんな感じだったとするでしょ？ 100点ね、100%ね。大体80%くらい取ってくる、みんなね。だから自分も取れないといけない、そうもなりませんね。

平均点というか、得点の分布で言うところな感じかな、イメージ的にはね。

みんな英語出来る人が集まってきているんです。だから慶応受験しよっかな、みたいになつてる、ね。

で、地歴はどうなの？ って言つとね。65%ぐらいの前後。80%くらい取る人も居るけど、もちろんね。

(ホワイトボードの図を指して説明)

地歴も、だからもつこんな感じでしょうね、イメージ的にはね。

そんなむちゃくちゃ差がついてない。もちろん、こんな人居ますけど……。この部分の人って、ひやく……120%受からないですからね？ だってそんな人ほとんどいないし、という話。

それで、イメージ的には今の話ですよ。

小論文ってというのはね。これ、小論文ね。これ、地歴ね。

これを50%とするでしょう。ね？ こんな感じ。

ウチのね合格動画ね、むちゃくちゃ違うでしょ？ 得点差が開いてるんです。

だから20点ぐらいしか取れない人、全然ザラに居るんです。2、30点しか取れない人。自分ではどれだけ書けているか分かんないけど、自信满满ですっていう奴に限って点数悪かったりする。

小論文自信ありますって言う人の答案酷いです、けっこう。何故かっていうと考えてないから。

（質問があつたので答えておきます。どんな分野でも、その道で達人の人は、自分の未熟さや至らなさを理解する力があります。イチローですら、自分が完璧などとは思っていません。一定のレベルに達しているから、至らなさに気づく事ができるわけです。他のライバルとの相対比の中において、自信があるならまだしも、自分の力を絶対視してはいけません。自分の上のレベルを見る事ができない程度の力しか無いということなのです。小論文試験において自分そのものに自信があるという事は、クリティカルシンキングができないということ。思考のレベルが浅いということなのです。）

要するに、知識があつて僕はこんな勉強したから、その僕の知識を書いてるんだから間違いない、とかいふふうにいる人。全然考えてないんです。小論文つていうのは考える試験なのに考えてない。

だから、点数良い人つていうのはね、どつちかつて言つたら、あーこれでいいかなー……つていふふうな形で書いてる人。そもそも完璧に書けないのにどういふ風に完璧にするか、完璧に持つていくか。つてことに神経がいつている人。そのレベルに達している人です。

ね？ あの一、さつきウチの合格動画の話しましたけど、小論文つてすごく出来る人は最初からできるし、書けない人は全く書けないし、読んでない人は書けないし。ね？ つて、いふふうに言つての、合格してる子はね。そのことが分かつてるから。

つまり、これを直感的に彼女はイメージしていた、つていうことなんです。だからウチに依頼してきてるんです、小論文を。何とかして小論文を、小論文でダントツの力を付けて5割に合格するには、もう徹底的に小論文得意な人に頼むしかないという発想でもつて彼女は対策している。だから、受かつてるんです。

だから、この感覚が抜けている人とかね、小論文つてただ書くだけでいいんだから簡単なんじゃない？とかね、考えている人はもう全然話にならないんです。

そうするとね、だいたい平均点の推移といふかね、違いだと考えた時に、この科目つてみんな取

るのね。ね？ この科目っていうのは、配点が低くてね差がつかないかも分らない。配点が100点で、かつ分布がね、あんま開いてないから差がつかないの。配点が低いくせにね、法……まあ、SFのだったら抜群に高いんだけど、法学部とかね。配点が低いくせに分布が凄まじい科目、小論文ね。

(ホワイトボードの図を指して説明)

そうすると、ここ差がつかないでしょ？ やってもやらなくても、あんま差がつかないから、という意味合いはあります、実際ね。ただ、実際どこで決まるのかって言ったたら、小論文と英語、がまあ当たり前だけど。英語は配点が高いから、で、配点が高いから、逆に言えば少しの地力の差が大きく差がつくんです。

で、この3つの差によって合格が決まるんです。どうやって勝つんですか、って差をつければ勝ちなんです。どこに差があるんですか、って言ったたら英語と小論文に慶応大学は差があるんです。

でも、地歴を勉強しないといけない、というふうに考えている人はそもそも差が無いところでやってくるから。地歴にあと1000時間突っ込むのか、英語に1000時間突っ込むのか、小論文に1000時間突っ込むのかっていうことが大事。

勉強というのは、試験の対策というのは、あのね……投資とリターンなんです。

イメージしました。

ヤバいなあ、これ……詳しく話していると時間が無茶苦茶かかるなあ……。投資とリターン、ね。

何がっていうとね、何か自分が勉強したら、その点数が上がらないといけない。試験本番での平均的な自分の点数っていうのが上がらないと、それは勉強時間を投資したことにはならないんです。

伝わっているでしょうか？ あのね、昨年ね、こんなこと言ってきたことがあります。早稲田受けますと、ね。で、問題集1冊やってるだけですと、ね。もう、その時点で僕落ちますと言いました。

何でか？ その問題集の記憶項目数がぞえてごらん？と、ね。4500項目ですと、ね？ 足りません、早稲田合格するには全然。

それで、今年法学部に落ちましたっていうね、受験失敗しましたっていう子から電話かかってきて、彼も同じように言ったから、何かね。

それで、何で1冊でいいと思ってるかって言ったら、残りのね、この問題集で足りない部分は過去問をやっつてね、そこから自分が知らなかったことをピックアップして、その問題集に書き込めば、このひとつの1冊の問題集は確かに1冊かもしれないけど、あのね、得点力としては担保された状態になると考えているんです。

そんなことは決してありません。いいです？ そこが大きな間違いなんです。

これね……うーん、話すとき長いなあ。まあ、でも話そうか。イメージとして重要な所だからね。

でね、地歴とか英語とかね、慶応クラス入る人、舐めてる人がいるんです。つまりは、まあ牛山っていうのは小論文が得意なんだから小論文だけ教われればいい、とかね。って言う風に思っちゃう人居るみたいなんですけど。あのね、ウチは予備校じゃないですからね、ハッキリ先に言いますけど。

予備校よりもアンケートをとると、小論文の授業の満足度とかっていうのはダントツに良いらしいんですけど、ありがたいことにね。予備校じゃなくて学習スキル支援する会社なんです。

つまりは、日本一をそこで、もうその、実質今日本一になってると思いますけど、日本一は目指すし、世界一を目指している会社なんです。英語力をつけるとかね。

もしあなたが英語力をつけるとか、それから地歴とか暗記科目たくさん暗記するとかいうことを考えたときにね、そのトップの会社っていうのがウチだっていうふうに認識してほしいんです、ますね。それで、じゃあ牛山が例えばね、今年落ちてしまった子いるんですけど。小論文は牛山先生得意だから一生ついていきますと、みたいな感じでね。で、英語はウチでサポートしなかったのね。

何故かっていうとね、僕は英語のことでその子がもう学習戦略の時点もう間違っているのがもう見え見えだったのね。記憶の理論から言ってもこれから話すようなことから言っても、もう完全に間違っているわけです。でもね、彼はついてこなかった……ね。いやいや、英語はもうここでやりますか

ら、とかね。うん。

いいんだけど、損をするよ？って話。

何で損するの？ この、理論的にも100%損をするんです。試験を作る仕組みから言って損をするんです。試験のメカニズムから言って損なの。

彼は全く覚えなくてもいいようなことを覚えたり、全く身につかない英語の勉強方法したりしてるんですね。

彼は帰国子女だったんですけど、帰国子女でも関係ありません。あのね、これも残念ながらあんまりいい結果に繋がらなかった子なんですけど。まあV.Oのね、入試の子だったんですけど。僕がサポートして、その子V.Oで書類審査突破しました。むりやり僕が突破させたから。

だから、かなりの倍率だったんですけど、書類の審査もね。僕が全部その書類を見てね、受かるように、必ず心に引っかけがあるように、こいつは絶対面接まで持っていくように、というふうに採点者が思うように触ったんですね。そこで面接でね、惜しくも。

87人ぐらい受けて2人が3人とかしかとらないの。かなりの倍率です、だからね。

で、その子はね、帰国子女で……えっと、何処だったかな。フィンランドじゃないや。まあ、どっか留学してたんですよ。ニュージーランドね、ごめんなさい。

ニュージーランド一年間留学していて、英語もそれなりに得意になったんだけど、こっちに帰ってきてから、日本に帰ってきてから学力落ちたの、英語の。

何故か？ それは非効率的な学習、英語の学習理論に従って、非効率的な英語の勉強をしたからなんです。ただそれだけ。

だから、英語の勉強方法を変えれば、英語つてのは読めるようになってきました、みたいなね。話だったんですけど。

何が言いたいかというとね、投資とリターンの関係を無視するとね、学習効率って著しく落ちます。要するに、試験に出ないことを覚えても仕方がないんです。

でね、試験に出ることの中には全く覚える必要の無い事もたくさんあるんです。それでも合格でき

るようになってるんです。

これ説明するのは難しいけど、パレートの法則っていうのがあって、全体の20%しかね、全体の学習範囲の20%しか試験には出ないって言われてるんだけど。例えば英語とかでね、試験に出た、過去に出た単語、分からない単語も全部調べていくとね、20%どこの話じゃなくなってくるんですよ。

伝わらないなあ、これじゃあね。

地歴で行きましょうか、そしたらね。地歴で行こうか。

そしたら、教科書に書いてあることの20%。

全体の教科書の中に書いてある全部100%でね、20%しか試験に出ないって言われてるの、ね。

つまりは、この20%を探り当てるのが重要なんであってね、試験に20年間に1回しか出ないと、30年間に1回しか出ないと、50年間に1回しか出ないような項目っていうのは沢山ある

んです、試験に。ひとつは。

もしもね。もしも、本当に難問を、地歴の科目で難問を入れなかったら、みんな100点取ってしまっんです。鎌倉幕府が作られたのは、いつたい何年ですか？とか言ったら、そんなもん、みんな絶対死ぬまで忘れない、みたいなね。良い国作るう鎌倉幕府、で覚えたら一生死ぬまで忘れないみたいな話で。

そんな問題ばかり出したらどうなります？ 試験にならないでしょ。ね？ 1192年とかね。平安京の年号とかね、卑弥呼が答えになるような問題とかね。誰が間違っんじゃ、という話です。

そうすると試験にならないから難問も入れざるを得ないんです。教授はね、力がある子は高い点数を取って、力が無い子は低い点数になるように作られている問題が、良い問題なんです。

つまりね、もっと別の言い方をするとね、MAXは決まっているっていうことなんです。覚えるMAXは、合格するために覚える記憶量のMAXってのは最初から決まっているんです。

そのMAXの中の20%を効率よく勉強するところが重要なのであってね、20年や30年に1回出

るか出ないような、例えばturndownっていふふうに英語で言ったらね、例えばこれがturndownって言ったら、これどついうふうな意味だと思います？

これ、英熟語のね、例えば単語帳とかね、そんなん見ても載ってないのね、当然。

何で？ そんなの出ないから、なんですよ。

これは、文脈でね解釈したら、景気が後退するとかね、低迷するとかね、そついう意味だったりするんですけど。そんなん覚えたって仕方が無いんですよ、もし仮に何年に1回か出てたからと言つて、それを覚えたからつて合格できないんです。

ということはね、試験に最もよく出る確率の高いものから順番に覚えていくのが、最も勉強時間を投資したときにリターンが高いということなんです。いいです？ 伝わってます？

ということはね、15万項目覚えて、やつと英語の点数が……もつと別の言い方をしたら、15万項目覚えて、やつと英語の点数が80点になる人とね、いいです？ 2万項目しか覚えていないのに80点なのと、どつちがいいんですか？つて言う話。どつちが学習効率いいの？つていう話ね。

15万項目覚えて、やっと英語がね80点到達した人も、地歴とか小論やる時間無いですよ？

でも、2万項目覚えて、仮にね。英語の点数が80%取れるようになりましたと、ね。地歴やる時間あるじゃん、小論やる時間あるじゃん、っていう話。つまりは、リターンが一番あるところに優先的に勉強時間を投下していくことの繰り返しなんです。

じゃあ、もう英語も小論も地歴もある程度力つきました。何をやったらいいですか？って言ったら、一番点数が上がると思える仮説を自分の中で立てて、いいです？そこに勉強時間を投資していくことが大事なんです。

それ自分で分かります？って話。分からない。大抵の場合はね。でも、そこまで贅沢なことになる人ってあんま無いんです、無い。何故ならば小論文があるから。

でね、毎回毎回、毎年毎年、何百枚も添削していつてるとですね、だんだん私の中にデータが蓄積されてくんです。この子受かる、この子受からない、とかね。今年もビンゴね。絶対にね、長嶋君って子だったけどSFCに合格すると、言ったのね。うちのスタッフの子、今ここでカメラとって覗きながらとって撮影してくれてますけど。ね、言ってたでしょ、受かるとね。受かったんです。

だから、僕のその小論文の受かる受からないとか、よく書けてるとか書けてないとかって言うのは、その精度としては当たり前だけど物凄く高くなっていきます。毎年毎年その感覚がね。

長島君なんてもう最初ね、どうしようもなかったの。英語もどうしようもないし、小論文もどうしようもないとね。でも彼はね、英語も小論文も全部僕に任せただから。ついてきたの、慶応クラスで、完全にね。受かりました。

だから、英語は他ホニヤラの予備校で、とか言わなかったのね、彼は。言われたとおりにやりました、全部ね。

だからほら、学習戦略の何だろう、投資とリターンの関係で最適化していけるじゃないですか。それで、残りあと何ヶ月なんですけど何をやらうといいですか？ 今まで僕が覚えたのはこれです、これだけ覚えてます、と。あと、こういうのを処理したいです、と。ね、こういう仮説立ててるんですけど、どうでしょう？ 相談したら、それを僕は言うんです。あ、ほらこつちの問題集じゃなくてこつちにして、とか言ってるね。うん。これってSFEの受けるんだつたら熟語が薄いからこつちにして、とかね、言うんです。

だから、そういうのも含めての最適な投資というのを、慶応大学受験にあたって指導する。多分、
そういう意味でも総合的になって言ったら唯一じゃないかな。かもしれないと僕は思ってる、今現時点
ではね。

これで伝わったかな？ 15万項目覚えるのと2万項目どっちがいい？って言ったらね、2万項目
です、とかね。言ってる受験生居るんだけど、当たり前の話だよな。

まあ、そうやったからと言って確実に合格するというわけでもないんです。

そこはね、難関試験たらしめているところなんです。からくりはこいついっからくりになってるんで
す、全体像は。OKです？

だから、英語の配点が異常に高くてTOEICの900点くらいとるような奴は居るんですね、ザラに
ね。SFCに合格した中垣君の動画、うち、出てますけど。英語ね、喋ってるでしょ？ 彼、TOEIC
900点くらいです。で、小論文うちでガチガチにやったのね。

で、小論文も書けるとか書けないとかかっていう差が物凄く激しいから、ね？ 地歴のレベルもけっこう高い、と。いう形になっていて、差が配点比率から言うと、ここと、ここはあんまり差が無いけど配点比率が高いんで。小論文は差がつくんで最終的には差が生まれていると。

だから地歴ってというのは、実際10点違っててもほとんど影響はないはずですよ、実質的には。いいですか？ 例えばシミュレーションしてみたら分かるけどね。

例えば、法学部受験するのに英語が80%でした、とね。小論文が……えーっと、英語と同じ80%にしようか、ね。で、地歴が70点でしたと、ね。これ70点でしたと、60でしたと、ね。

でも、こっちは小論文が75点でしたと、こっちは小論文が40点でしたと。40点！？ 40点なんてあんの？ って思うかもしれないけど、もう全然あります、小論文の世界は。全然話にならないような小論文、物凄く多いんです。

受験生はまだね、何て言うかな、自信がある人も居るかもしれないし、僕は偏差値高かったんだから、というような自負があるかもしれない。

どっちにしてもこれ、見てもらったら分かるけど、一発でこっちが勝つでしょ？ 地歴60点し

かとつてない奴の方がボロ勝ちなんです。何点差がついてんの？ね。45と75と45だから、35で25点勝ち、こっちが。こっち負け、こっち勝ち。なってるでしょ？

小論文が強い、小論文に強いってことがいかに重要かってことなんです。だから一年間みっちりやる、めちゃくちゃ。みっちりやるのが大事ですよ。

どれだけやれば合格できるんでしょうか？っていうようなことをね、僕は聞きたくないんです。どれだけやったら合格しますか、っていう子みんな落ちていく、難関試験は。

どれだけやったら合格するんですか？っていうのは、最大限楽をして努力しなくてもとりあえず合格できるレベルってというのはどこか、みたいなことを探ろうとしてる、意識がある。うん、負けなんです、その時点で。

もう死ぬ気でやりますと、ね。勉強時間1分1秒惜しんで死ぬ気で勉強しますと。そんなの前提だけど、そのうえで、とにかく僕は勉強する時間全部勉強するから、その学習が無駄にならないよう

に、きちんとリターンがあるように、その投資先、勉強の投資先はどこですか？教えてください、っていう人、受かります。

だって僕が全部最適化していくもの。これ見て。でしょ？ 本読むのに時間突っ込んだほうがいいよとか、その子の小論文見ないと言えないよ？ その子の小論文のレベルを見て、ああもうちょっと言語能力がまずいな、と。日本の論点音読しようかとかね。言いますから。

ただ、メキメキ良くなっていくの、けっこう短期間でもきちんと言われたことやる子は。でも、そういう投資とリターンの関係にあるとかいうの知らない子とか、もう僕は慶応の法学部受けるんだぜみたいになってる子ね。実力伴ってないよ？みたいなね、話で。

小論文の点数がほら、ね。結局やっぱ伸びないわけですよ。ピノキオになってるからです。(俺すごいぜ、俺に参考になる情報だせよ)みたいな話。こういう子は不思議とみんな落ちます。すごい重要。本当にきれいに、傲慢だと落ちます。大変不思議です。

でね、これは今、今回ね自動記憶勉強法のね原稿にも書いたんだけど、もうかつて驚きの問い合わせってというのがあってね。

『僕は東京大学の法科大学院に通っています』と。司法試験を受験しますと、ね。それで、ああ優

秀ですね！と僕が言ったのね。そしたらね、彼何て言ったか。いやぁーみたいな。それほどでもー
みたいな。

↓DVDでしか話す事ができない内容の為割愛↓

止まりました、3秒ぐらい。点点点……って。

恥ずかしくありません、ちょっと？ね。弱点なんです。(そついう考え方をしてしまう傾向が問題
だと言いたかったんですけど)みたいな話なんです。

高学歴を目指す人の人生が狂う最大の弱点がここにあるんです。何で中卒なのに何千億円とか持つてる資産家いるのか、みたいなね。その弱点が強みだったんです。彼にとっては。対極ですよ対極。

つまり、自分を過信してないってこと。プライドがありすぎて、その分野に詳しい人の知恵を借りるとかサポートを受ける、ということができないんです。プライドがあると。全部周りの人間みんなバカに見える。いいです？ 学歴で評価するからです。

でも、どんなに学歴があっても、周りの人の方が賢いなんてことは、もう星の数ほどあるんです、本当は。うん。それが見えなくなるから。だから人生狂うんです。

だから、例えば小論文を指導されても指摘されても、SPOCに行ったよつな人間になんで慶応大学の法学部を受ける僕が指摘されなくちゃいけないんだ？とか考え始めるのね。そしたら落ちるよ、という話。

関係ないから、全然。東京大学の法科大学院のどこにも関係ないの、そんなのね。うん。だって僕、記憶のサポートのプロだもんって話。

だから、法律のことはね、分からんよっていう話ね。でもほら、山越先生合格したじゃない、弁理士試験に。ね、司法試験と全く同じような条文集を何百ページもあって、全く同じようなハイレベルの国家試験ね、弁理士試験ってというのは。全然関係なかった。

彼は、僕が言ったことを物凄く情報感度を強くして、物凄く深く理解して実行したんです。パーフェクトに実行しました。だから合格したんです。合格率6、7%ね。

今の法科大学院卒の新司法試験、よりも、もしかしたら難しいんじゃないか、と言われていたの。過酷ですよ、弁理士試験は。口述試験もあるからね。そこで20%落とされるらしいからね。将来弁理士になりたいんだったら、口述試験の存在ってのは知ってるかもしないけど、ほとんど受かるんです、司法試験の口述試験っていうのは。でも、弁理士試験20%落とすんです。怖いね。みんなはそういう感覚はないと思います。それはね、弁理士試験の内容を見たことが無いから。あれだけ過酷な論文試験を何年もかけてね、灯台の法学部卒の人が4回くらい落ちるような試験なんですよ。それを何年もかけて勉強して、短答試験に合格して、論文試験に合格して、やったー！ってなっている状態の人を20パーセント落としてしまうというね（苦笑）残酷です。

何でそんな残酷なことするんだろっ？って話を山越先生と話ししてただけど、そういう風になります。どっという風になるか、落ちるってことです、うん。何も関係ないから。

でね、何で中卒の人なのに数千億円も資産持ってたて東京大学卒みたいな人間たくさん使っているかっていうとね、自分がアホだと思っているからなんです。アホだと思っている人強いんです、物凄く。

何故かっていうと、あのね、これ凄く重要な所だから、もう慶応クラスに一番最初に話ししとくとね。自分のことアホだと思っている人っていうのはね、たくさんの人を知恵を借りれるんです。自分一人の力で戦わなくてもいいの。

そもそも、こっぴつたTOEIC900点取るような連中との戦いでしょ？ 自分一人で戦ったら死にますよ、はつきり言ってますね。

ところで、自分のことをアホだと思ってる人は、サポーターをつけるの。めっちゃ強い人をね。例えば中垣君とか。中垣君のお母さんね、海外留学していてMBAホルダーなわけね。物凄く頭がいいのよ。

んで、国際企業の役員もやっているような人で、今ちょっと変わったって言うだけ、日本最大の出版社グループですよ。まあ、あの聞いたことない人絶対無いような大きい会社の。

そのお母さんも味方だったわけ、ひとつには、中垣家っていうのは。ケン！やらなかったらブン殴るよ、みたいな話で。お母さんが徹底的にサポートするの。それをやっぱ素直に受けるのね。で、小論文は牛山がサポートしたの。言われたこと全部やった、彼は、ね。

だからほら、3人で戦ってるじゃん、この人。

〜中略（DVDの中でしか言えない内容の為カットしました）〜

これ映っています？こっちのが強いよね絶対。それで、こういう人は他にもサポーターがいたりする。い人対一人みたいな、うん、高いのプライドだけ。

だから実際には、その、経営の世界なんていうのは、データでも凄いけど、まあちょっといま時間がないから、しゃべるの端折るけど、【ビジョナリー・カンパニー】という、ね、本をぜひ読んでください。経済学部受験する人とか。経営の、経営学の世界で古典的なものすごく名著。【ビジョナ

リー・カンパニー」というね。それは、短期間で業績を引き上げた社長の特性を語っている本なんだけど、それは、凄く素直で謙虚な人なの。我が強くなって、つまりこうなって（天狗になってい
る図を手で表現）ない人。だから、色んな人の知恵を結集することが出来るの。

（DVDでしか話す事ができない内容の為割愛）

でね、細目事項の先に未来はありません。まず、　　の 一問一答を使ってとか何とかって言う、あのー、そう言うことこのー、が重要じゃないんです。受かるか受からないかということ考えた時。まずこう言う大局観があって、この差をつくれれば合格なんです。どうすれば合格確率をギリギリまで引き上げることが出来るのか、どうすれば合格確率をギリギリまで引き上げることが出来るのか、

これはもう話しました。投資とリターンを最適化することです。つまり、伸びしろが一番あるところに時間を突っ込んでいく、それをフルに勉強をして、要するに1分1秒惜しんで、勉強して勉強して勉強しまくって勉強の鬼になって、ね、それで、えーとー、ま、そこまでやらなくても実際合格するんだけどね(笑)、って話だけど、まー、その、気持ちは重要ね。

うん。長島君なんてもうぜんぜん、その、名門高校にも何にも行っただから、彼はもう一倍そういう気持ちは強かったんじゃないかな。つまりは、エリート意識がないから全部はいはい言うこと聞くのね。うん、だから結果出るじゃないという話。勉強して勉強して勉強しまくってその一番伸びしろがあるところ、一番伸びるところ、一番リターンがあるところに勉強時間を突っ込んでいくんですよ。その調整って言うのは慶應クラス入って、学習計画表を送ってもらったら一緒にやります、みんなと。みんなと一緒に電話で話をしながら、牛山が、やるということもできます。希望者は、うん。でも一回目は絶対送った方がいいですよ。基本はね。それから安定合格を狙う意味、うーん、時々試験という風に考えると山を張ろうとする人がいるんです。うん。

落ちます、絶対。なんでだと思えます？試験ってものすごくよくできています。山を張って受かるようになっていない。数学みたいに問題が4問しかありませんとかね、この4問のうち1問は実は捨て問で、この3問とかこの2問をいかに正解するかと言うことが合否に関わっているんですとい

う場合はそれでもいいよ。でも、地歴の科目とかね、うん、こういうのは、そういう、合格の方法が出来ません。

何で？問題数多いから、英語もね。英語も地歴も問題数が多いでしょ。だからそう言うラッキーほとんどありません。基本的に、で、小論文もないよという話。英語・地歴・小論文に関しては山は関係ないです。（せこいまねして合格しようという情報ってありますけど、併願できなくなりますからね。）数学だけ関係あります。

数学はね、うん。数学は関係あるけど、英語・地歴・小論文に関しては山とかなんとかないから、基本的に絶対合格できる実力付けて当たり前前に合格していく、併願したところ全部合格して全勝していくって言うぐらいの意識が大事です。

どっか引つかかたらいいな、とか考えない。地歴なんて問題数、問題の数が10000個あったら10000分の1だもんね、でる確率はね。そんな山があたるわけじゃないじゃんって話でね。全部覚えなさいといけないんです、というところですよ。出るところはね。小論文の点数の実体はどうなっているのか、もう話しました。こういう風になっています。

どうすれば小論文の点数を引き上げることが出来るのか？うん、ここは誤解が多いところなんで32
お話ししておきますと、まず授業を受けることが大事です。小論文を受けずして小論文の点数つてのは上がらないんで、この慶應クラスに、もしも小論文の7日間プログラムを申し込まずに入って来た人は6ヶ月の継続の方に変えてプレゼントしてもらうってことを選んだ方がいいと思います。基本的には僕は絶対その方がいいと思います。小論文の授業を受けずに書き方も教わらずにいきなり書くのは、実力をつくかもしれないけど、サッカーに例えていったらサッカーの基本的な訓練とかトレーニング一切受けずにいきなり試合に出さされて、ね、それでお前ドリブルがヘタとか、お前はシュートがヘタとかシュートの打ち方がおかしいとかいわれるものです。

最初はボールの蹴り方とか教えてもらわないと、ひとつには、たぶんね。基本的なトレーニングってのはどんなスポーツでもありますから、それ、小論文も同じです。まず授業受けることが大事です。そのあとに添削をしてもらうことが大事です。添削を素直に受け入れることが大事です。いいですか？ここでね、納得していない人が時々たまに出てくるですよ。「わたしは、ここの主張は多角的に主張しているんです。」とかね。

なかなか面白い反論だなと思ったことがありますけど(笑)。あの一、全部理由はいいます。理由は

ね、そこがうちが面白いところ。ほかのところと多分違うところ。いいんだとかいいっていわないところ。理由は全部いいます。なんで500文字以下だったら問題設定しなくてもいいの？とかね、問題設定とはそもそもなんのためにあるの？とかね。どうして点数が高いの？低いの？とかね。納得がいくまで幾らでも話します、うちは。

合格するにはどうすればよいのか？うん、これは話しました。こういう形で投資とリターンを最適化していくことです。合格するにはどうすればよいのか？差をつくるってことです。うん、ほんと。でもね、これって重要なんですよ。何がって言うと、この一言化。

「合格するにはどうしたらいいんですか？」「どっとう勉強したらいいんですか？」「こうなんですか？ああなんですか？うーなんですか？」

ものすごいうわーって質問してくるんですけど、そういう人は、ね、これSFCの総合政策学部受ける人もいるかも知れないから言っんですけど、全体像が見えていないんです。

つまりは、こういう論点とかこういう論点とか、こういう各論的にいろんなのがあるでしょ？英語はこういう風に勉強した方がいいとか自由英作文はこういう風にしたらとか何とか、それをひと言でいえるってことなんです、ひとつには。結果を出したかったら。問題解決能力をSFCでは試されるでしょう？じゃあ、受験に勝つにはどうしたらいいんですか？

差をつくればいいんですけど、こういう風に一言化できるかどうかっていうのが大事なんです。総論ね。こういう能力がSFCでは問われているんです。もしも慶應大学を攻略するにあたって、こういう風にすればよいか図式化しなさいって言われたらこう書けばいいんです。

(ホワイトボードに図を書いて説明しています。)

そんなこと絶対ないけどね笑)。だけどこういうこと。だから、細部に目がいくから問題解決の力が奪われていくんです。その図式・構図・メカニズム・仕組みというのがわからなかったら、なんで問題解決することが出来るでしょう？できません、でしょ。合格するにはどうすればいいのか、差をつけるっていう話があって、各論的にあって、その仕組みがあって、投資とリターンという原則が

あり、その原則を自分の勉強に反映させていって一番点数が伸びるところに突っ込む。

基本的にはもちろんね、それは学習の後半の話であって、

最初の6ヶ月と7ヶ月って言うのは基礎体力をつけて70点80%取れるように学習計画は組みます、基本的にはね。でもその後って言うのは投資とリターンの関係なんです。それから記憶項目数から考える合格レベル、記憶項目数から考える合格レベルしか書いてないですね。記憶項目数から考える合格レベルっていうのは、どれぐらいか？記憶量+解答力。この図にもう一つ何か加えるとしたら、点数のことしか書いていないけど、差っていうのは何か？という風にいってもいいかな。ここに書き加えるんだったらね、ここだ、総論の図式画ですよ、これ。

差というのは何か？といったら、記憶量と解答力とで生まれているんです。「点数の差ってどうやって生まれているんですか？」

記憶量と解答力とで生まれているんです。基本的には試験って言うのはウルトラクイズなんです。憶えているか憶えていないのかだけなんです。午後の7時とか8時になったらクイズ番組やるでしょ？、あれと同じです。ほにやららは？って聞かれてほにやらですと答えられたら合格できるん

です。

試験ってただそれだけのもの、基本的には。でも、慶應大学っていうのは実学重視の、この解答力って言うのは色んな構成要素がありますけども、その中でも「 \cdot 」 \cdot とまあ何個かこうあったらね、この思考力ってのすごく重視しているの。なぜならば、実学重視だから、慶應大学っていうのは、実学重視っていうことは、これは何と反対かということ。

(DVDでしかお話できない内容の為カットしました。)

↓冊子でしか掲載できない内容ですので、カットしました。↓

「いやそんなことないですよ。小論文だって知識をたくさん補充すればそれに正比例して点数って伸びるんですよ」伸びません。知識に正比例して逆に点数が落ちる現象を私見してきました。知識が増えれば増えるほどこつとなるからなんです、「コピペ思考になるんです、考えてない。つまりは自分の知

識を安易に目の前のその問題にパカッと当てはめちゃう。

でもそれが全然当てはまってないの。前提条件が違ったり、言ってることが陳腐だったり、専門家から見たら・大学教授レベルから見たらものすごく稚拙なことを言ってる。それを自分はどうかの論文と読んで、さも自分が勉強して、「僕は政治のことは全部わかっている」(笑)みたいな気持ちになっちゃって、「どうだ、僕のその政治についての知識を披露してやるっ」みたいな感じで書くから落ちるんです。

〈中略(DVD)でしか言えない内容の為カットしました。〉

法律だってそうなるよって話。「僕は法律についてこんなに勉強しているんだ」「まだ高校生かも知れないけど、僕は浪人してこんなに法律について学んだんだ。だから僕の法律の知識はこんなにすごいんだ」みたいに思っても、その研究何十年もやっている先生からすると。その法律・憲法を研究とかしているような東京大学のその先生とかそう言うのが見たら、なんかもう鼻でフンって笑ってしまっくらいい稚拙なんです。

～中略（DVDでしか言えない内容の為カットしました。）～

・・・という風に思考することが小論文の点数を取る上でもものすごく重要なんです。そこに思いがいたっているかどうか？ということ。

伝わってるかなあ、これ。カメラなんで僕はものすごくあのー、不安なんですけど、ここが。ね、話をもどしますけどね、

～中略（DVDでしか言えない内容の為カットしました。）～

いいです？この配点表を見てみましょう。ただ英語で80点から70%取れるでしょ、いくら慶應の英語といえども。慶應大学が出題する英語ってハイレベルとかなんとかわれていますけども、そ

れでもバリバリ英語って言うのは絶対東京大学受験するんだったら、絶対もう柱になる科目だから英語が不得意でどうしようもないって奴は少ないんです。のらりくらり奴らは点数取ります(笑ね、なんだかんだ優秀なんだから。80%ぐらいは取るでしょ、地歴を数学に変えてこらんよ、全部取るよ彼らは。小論文で点数が差がつかないんだもの、いい？

だって全体の18%しかないんだもの。

これぐらい取るわけ、東京大学の学生だったら。受かるよ、絶対。それは彼らがものすごく死ぬ気で努力して勉強している学力がついているからなんです、こういう風になっちゃっ。

〜中略(DVDでしか言えない内容の為カットしました)〜

例えば、先日東京であって出版社の方と打ち合わせしてきましたけど、ああいう編集社の人って文章の達人です、ね。文章の力というのは比例するけど、分析力とかそこから思考する力というのはセンスがものすごくある人となない人がやっぱりいるんです、実はね。だからね、慶應大学の法学部の、ね、センター試験から撤退、慶應大学がセンター試験から撤退したの、ここに僕は秘密があると思っている。つまり

（中略（DVDでしか言えない内容の為カットしました。））

なんでそうなるかっていったら、さっき言ったでしょ、これ、この傾向があるからなんです。分かります？つまりは、ロジックを構築する時に独りよがりな構築だったり、共感を得ることが出来なかったり、その論理の構築の仕方が曖昧だったり、その分析を自分がすばらしいと思っていたり、それによって不適切な言い切りがあったりするからなんです。点数は低いんです。そう言う人の小論

文を見たら、主張ばかりの羅列、主張の羅列みだいになってたりするんです。

小論文として全く形をなしてなかったりすることも最悪の場合あります。そうすると小論文で、じゃあ、半分でした、ね、落ちます。という方の話なんです。だから努力が実か実らなかったことで言つと、実りやすいのは、まあ、比較的経済学部と言つことが言えるかも知れませんが、みっちり1年間小論文の実力を鍛えていくことで、うち徹底的にやりますんで、こつこつ風にしていくので、素直についてくるかどうかってことがものすごく重要なんです。そうしたら合格です、合格。バ力になった方がいいんです。受験生の間とか、ね。ほんとはね一生謙虚であってほしいです。でもね、うーん。

うちがサポートするのはとりあえずは合格するまでなんで、合格までのことを言いますけれども、それまでは少なくとも絶対謙虚の方がいいです。受からないから。受からなくなるから。司法試験受験しますという人も同じです。まあこれ関係なんだけど、そう言う傾向が多いです。

～中略(DVDでしか言えない内容の為カットしました)～

そうしたら、もう色んな受験する人がいるから。こうなっているかどうかって、一瞬話したらす

ぐに分かります。なんにも得はないです。「僕は司法書士を受験をするんですけど、司法書士は他のあらゆる試験に比べて圧倒的に違います。格が違っんです。「何が違っんです?」科目数が違います。11科目あります。」(笑とかね、うーん。司法書士って難関試験ですよ、難関試験だけど、もうその周りが見えなくなっているの結局。

難関試験で法律だからものすごく自分が毎日条文読んでいたら高尚なものやっていると誤って思ってしまふ。でもこういう試験の中身っていうの冷静に分析してきちんと対策を立てた人は、公認会計士であろうと司法書士だろうと一発合格・半年合格していたりするんです。

どこに違いがあるのか?ここに違いがあるんです。正確にその情報を・物事があるがままに見ることが出来るかどうかということが重要なんです。だから慶應クラスの中でも併願をたくさんする人で、どうしても、うーんそうね、どうしても、慶應大学に絶対合格するという場合は経済学部を第一志望に変えることをお勧めする場合があります。でもそれは小論文を見てみないと分からないんです。4月の時点では分からないんです。そこからどれだけ伸びるかも分からないんです。ちょっと見てみな

いと。添削指導して、1回2回3回と見て、その中でB判定がちらほら取れたりとかする場合は結構確率がありますけど、今年合格した長島君何て言うのは最初の3ヶ月ぐらいは全然ダメだったりもしました。

でも短期間で伸びる子もいるんです。だから一概には言えないんです。それでも肌感覚で最終的には分かります、ということ。解答力って言うのは、うーんとね、解答力の養成講座って言うのがあるんですけど、アレを見てもらったら全部分かるんだけどあんまり詳しく話せないな。記憶量を積み上げるだけではテストの点数って安定しないところがあるんです。例えば英語の内容一致問題とかね。ああいうのは解答力が関係します。

解答力がある人は、同じ知識量でも点数を20%増しとか30%増しで取ったりするんです。

不思議なことに点数が倍になったりする事例も私みたことがあります。それから小論文って言うのは解答力の科目という風にいうこともできます。つまりは記憶量が全然関係ないんです。どういう風に書くか？どういう風に考えるか？どういう風に記述するか？どういう風に評価してもらおうか？そこが重要なんです。

ただこれを浅ましく曲解して考える人がいて、つまり小論文というのはその人の実力を反映している科目ではなくて、エーとねなんつて言ったかな笑、「解答テクニクというか立ち回りが上手い人間を合格させる試験であって、その人の実力なんて全然反映していません。」と書いた人がいました。曲解した子がいました。その子は落ちました。

何故かというとな、僕が言うことを結局ね、何て言うかな、うーん、素直に受け入れなかったのね。分からないけど。名門大学の法学部に在籍している子で、名門大学の法学部に在籍していました、彼は、どことは言わないけど。名門大学の法学部に在籍していて、ね、自分の実力にも自信があつたのでしょう。そうするとね、指導してもね、謙虚になれない、あと自分がバカだと思っていないから。バカだと思えとは言いません。

頭がいい・優秀な子は色んな優秀さがあるかも知れないけど、自分は神じゃないという風に思うことは大切なんです。神様じゃないんだと。どんな人でも優秀な部分と優秀じゃない部分があるんです。

小論文つというのはねー、むちゃくちゃ実力が出来ます。その人が持っている思考の、思考力の実力とか、それから、なんていうかな、実力そのものがです。小論文つてのは。

〜中略（DVDでしか言えない内容の為カットしました）〜

もっと言ったらディベートさせたらいいんです、討論。討論させたり、あなたは についてどういう風に考えていますか？って聞いた方がいいです。実力が全部出るから、ごまかし聞かないよ、はっきりいって。それにもっと近い形であなたの実力を試されているのが小論文だと思った方がいいです。いいです？

〜中略（DVDでしか言えない内容の為カットしました）〜

そう言う側面はありますけども。その実力、まあ法学部とかで言う和法律を解釈をする、まあ

実力と解した方がいいです。でもそこでもやっぱり思考する力が求められています。最近司法試験や弁理士の試験でも、論文試験で単純な記憶力だけを試すような問題が減ってきていることは法学部志望者で知っている人何人いるか？って話なんです。知性が試されている、知識じゃないんです。

知性の方が試されているんです。実力を試されているんです。いかに法律を解釈をして、弁護士・弁理士として優秀に法廷でね、活躍できるか、知性の方が試されているんです。実力なんです。小論文つてのはそのまんまなんです。色んな論点を解釈して、反映させる、文章で反映させるという実力そのものなんです。そこが、無くなっていくとすとね、さっきみたいになって彼は慶應に全部落ちてしまったんです。たぶんこれね、響いてない人ね、たくさんいると思うんです、ここで。

「うーん？」みたいな「小論文が実力？」みたいな、うん。それで彼はまあ、そう言う牛山の話は聞きながらも、『まあまあ、ままま、分かりました』というふうに、心の中で思っていたのでしょ、その言葉が現われるフレーズがあるんです。電話を切る前に彼は「参考にします」って言って切ったから。

「分かりました。どうもありがとうございます。参考にします」って言った瞬間に「ちょっと待ってよ」っていたの、俺が。(笑)

「ちょっと待った。参考にしますって言ったらいけないよ」って言って、それから一時間ばかりは話引っ張ったの、彼のためだと思って。

でも彼変わらなかつたね。でね、なんでここにこんなに時間かけているのか、この解説の中でこんな時間取っているのはね(笑)、ここが合格になるか不合格になるかものすごく一番重要なポイントなんです。実は、こここの部分で納得していない奴って言うのは、文系は落ちる可能性大なんです、可哀想だけでも。

納得している子は受かる可能性大なんです。これは慶應大学だからなんです、分かります？ なんです？ すぐ即答できます？

なんで？「理解していますか？」「うん、わかりました」「エー、本当に理解している？ じゃあなんで？」ってきたら「あー、うーん、えーと、すいません。分かりません。」とか言うんだけど(笑)、

そうなるの。なんで？

小論文が配点が高い大学だからなんです。もしもこれが、いいです？、素直にならなくても全然合格、余裕で合格できるのは東京大学なんです。何故か？

学力重視の大学だからなんです。でしょ？

「うるせい、てやんでい、このばかやろう。」

お前の、先公の言うことなんて俺は聞かねえんだ」って言ったって、教科書丸暗記して、それで数学の問題で100%解答を再現できるようになったら合格できるんです。

素直さなんて関係ないでしょ。ところが小論文というのは答えがないんです。数学の問題って答えあるでしょ？古文もありますよ、国語もありますよ、英語もありますよ、他の科目って全部答えがあるけど小論文という科目には答えがないんです。ということは、その答えを指導してくれる人・答え

らしき方向に導いてくれる人、元々答えがないんだから、その方向にあなたの文章を修正してくれる人、そういう人についていけるかどうかと言うのか、実はものすごく重要なんです。

でも例外はあります。素直な人が受かりやすいと言ったけれども、全体的に%でいったら、全体の68%は素直の人が受かりやすいんです、慶應大学。小論文の指導の伸びと言ったことから・観点から言うよね。例外があつて、80人が40人かな、だから88%じゃないかな、割ったら出ます、数値がね。

でも30でだから3%だから、実際に2%か、100人いたらそのうちの2人か1人ぐらい例外がいるんです。でもうちに問い合わせしてきているってことはそれだけ優秀な、母集団の中ではちよつと突出した感じだろうから、たぶん、うーん、80人に1人じゃないな、なら100人に1人ぐらいかな。100人に1人ぐらいの確率で、あなたがこの100人に1人、これ結構リアルな数値です、

実は僕の経験から言うと。あなたが100人の中の1人だったら素直じゃなくてもいいです。いいです？これはすぐ判定できるんです。今すぐ小論文を書いてうちに送って下さい。

∞ 枚書いて ∞ 枚とも B 判定が出る人がいるんです、100 人中 1 人ぐらい。でも B 判定取ることができるのは、いきなり B 判定取ることが出来るとか、いきなり、そうね、いきなり最初の段階で B 判定取ることが出来るのはね、B 判定を 1 回取ることが出来るのがほしい、100 人に 1 人ぐらい、2 回書いて 2 回とも B 判定になる確率は ∞ 人に 1 人ぐらい、∞ 回書いて ∞ 回 B 判定取ることが出来る人というのは 100 人に 1 人ぐらいかな、だから実質的にはね。

でもうちに問い合わせしてくる母集団の中で言うと ∞ 人に 1 人ぐらいだと思う、∞ 回書いてだったら。こういう人がまれにいます。うん、この人は素直じゃなくてもいいよ。ちなみに「私は多角的に主張したんです」って言ったケチつけていた人、うん、実はこの優秀な人だったんです。こいつ面白いこというなって思ったけど、僕は一瞬みて、ね、もう問い合わせしてきた時 2 月だったかな 1 月だったかもうギリギリだったんだけど、保護者の方が最初電話かけてきたのね、「受かるでしょうか?」とかいってね。「それ見てみないと分かりませんね」見たのね。そうしたら、「いいな、これ筋がいいな」(笑)「お母さん、これわかりますよ」っていったらうかった。一発で。

(ちなみにこの子は私の小論文の本を読んでる子でした。)

文句言って全然素直じゃなくても受かる人っていうのもいるんです。でも、それは僕の経験から言うところ、100人に一人、実質50人に一人。あなたがここに該当している場合は素直じゃなくてもいいです、ぜんぜん。僕も小言は言いません。どっちにしたって受かるんだから受かればいいじゃんって話でね(笑)。うち受かるためにサポートしているんだからみたいな(笑)話なんです。

OKでしょうか？大体こういう風になっています。確率的に言ってもああいう感じ。OKかな。それで、学部ごとの配点と難易度、うん、これも大体言いました。実際はさつきみたいになってるという話です。それから併願は何が相性がいいのか？あの一、単願の薦めと申すことを言ってる人がいてね、併願って言うのは基本的にはあんまり、合格すると言うことを考えた時にあんまりいい戦略ではないんですけれども、それでも併願するんだったら慶應大学の文系全部受けるというのは一つの手ですよ。法・経・文・商・SFCとね。これが合格確率と言うことを考えた場合に、一年か一年半ある場合で、○からのスタートだったとしても一番合格率が高いかなと思います、直感的なイメージで、経験的にも。やっぱり試験は水物なところがあるんで、そうだな、SFC受験する人は絶対両方受けましょう。

この続きは慶應クラスのガイダンスDVDでお話しています。合計3時間くらいで、詳しく解説しています。

第3章

東大と慶應の受験生の

最大の弱点

エリートが持つ唯一の

弱点克服法

Weakness of the elite

早大卒はエリートなのに だから強い？

エリートの弱点とは何か？

エリートの弱点とは、慢心です。

私が主催する慶應クラス（慶應大学一般入試文系絶対合格を目指す慶應文系に特化した専用の総合サービス・コーチング・小論文添削・学習支援）では、最初に配るガイダンスDVDの中で詳しくエリートの弱点と、慶應大学に合格する障害について話をしています。ここでは少しのポイントだけを話しましょう。

なぜエリートの弱点が慢心であり、その事が慶應大学合格に大きな足かせになるのでしょうか。その理由は、エリートは慢心の状態になりやすく、その事で自分の力を大きく弱める事が多いからです。そしてそういう心理状態が慶應大学に関してはどの大学よりも、合格に関して大きな障害になるのです。

どうして慶應大学だけが慢心を起こしていると合格しにくいのでしょうか。その理由は小論文試験にあります。小論文試験だけではなく、小論文試験の中でもとりわけ慶應的な小論文試験が、慶應大学にはあるからなのです。

この事は大学の運営にも大きな影響があるかもしれないので、あまり語りたくはないので、オプラートに包みながらお話しします。

したがって何からなまでに完全にここでは理由をお話ししません。一部を話します。小論文試験とい

うのは、心がうぬぼれていたたり、傲慢だとそれがそのまま論調に反映されます。火であぶると浮かび上がる絵のように、その人の心が文章に出るのです。これはマークシートでは図れませんし、あくまでも限定的な問いしかしない他の科目ではありえない現象です。例えば、小論文の答案が、慢心の状態にある人は、主張だけになったりします。最初から最後まで自分の考えを述べるだけになったりするわけです。自分の考えに自信があるからです。もちろん点数はほとんどありません。論文ではなく、作文に成り下がっている為です。そうやって東大には合格できるけど、慶應大学には不合格になるというように、極めて優秀な頭脳を持ちながら、不合格になるという現象が起こる入試体制になっているのが、慶應義塾なのです。

この自信と慢心というのは紙一重です。自分が優れていると思えば思うほど、慶應大学絶対合格法の小論文の漫画のように、自分を客観視する事ができなくなります。(なぜ私の優秀さを分つてもらえないのだろうか・・・)と思うようになるのです。

慢心を無くせば慶應に合格できる

慢心を無くすのは難しい事です。私には次のような経験があります。ハーバード卒のある方と話をした時に、ヒシヒシ感じたメッセージは、(私はハーバード卒なんだぜ?)というメッセージでした。

もちろん、ハーバードを卒業していても、人間的に立派な人はたくさんいます。彼だけが特別だったのでしょう。このような慢心でいっぱいになった心は、言い換えれば、私が間違っているわけがない、という事。そんな事はハーバード卒しかないよと、あなたは思うかもしれませんが。周りを見渡してください。医師や弁護士、先生と呼ばれる人や、高学歴な人で、現状のあなたよりも立場が上の人が、そういう心理状態にあるのを見た事ありませんか？その分野に詳しくても、一步引いて物事を見ていて、求められればフラットな立場からテーブルについて話をするようにスツとスタンスを変える事ができるかどうか、慢心に心を支配されているかどうかの見極め方です。

小論文ではあくまでも客観的に、思い込みや決めつけを排して先入観や少ない知識以外から論理を構築してメッセージを届ける必要があります。

自分の慢心を解く重要な認識・戒め

受験とは可処分資源の投資とリターンのゲームである

東京大学に合格する人は優秀です。これは真実です。

ただし、受験は頭がいい人だけを選ぶゲームだと思ったら大間違い・・・という認識はある意味では大切です。全てについてそうとは言いませんし、私自身が完全にそうだとは思っていません。私がそうだと思っていると言ったら東大受験生のあなたは気分を害すでしょう。

ある総理大臣は、子供の頃から全科目に家庭教師がついていたそうです。もちろん、東京大学卒です。お金があればそれだけ戦いは有利になるのは、まぎれもない事実です。少し分りにくいかもしれませんが、現実の具体的なお話をしましょう。

今は弁護士事務所を経営している国際弁護士として活躍するある弁護士の方の文章を引用したいと思います。

事務所見学に来てくれる人達に私がよく尋ねる言葉は、現在一番腹が立つことは何ですか」です。3人のうち辛うじて1人は少しは意味が通じることを言う位で、余りきちとした返答がないことが多い。社会の現状を全て肯定しているのでしょうか？そんなことはないのでしょうか？中身のある応えを頂けないことは淋しいと率直に思います。問題意識を持たない人に重要な社会の動きや情報は認識できないからです。私達法律家がこつとして冷暖房のよく効いたジュータン敷きの部屋で、秘書を与えられ、世界中の法律を調査したり、数枚の意見書を英文や和文で提出して百万単位の報酬を頂くことができるのは、一体

我々の力故なのでしょうか。私が中学を卒業する直前、担任の教師が、「すぐ就職する人は手を挙げて」と呼びかけた時、1、3以上のクラスの同級生が手を挙げました。その中に私よりいつもはるかに学業優秀な人が男女何人か居ました。そしてその中のひとりの女生徒はきれいに洗った白いブラウスをいつも着ていましたが、そのブラウスは何年も着古してほろびをきちん縫ったような印象でした。時々、彼女が教室を出て、廊下で弟の世話をやいているのを見たこともあります。賢明な諸君はもうお分かりでしょう。私達は高校、大学、そして司法試験と少しは勉強しましたが、そもそもそれはそういう生活をするのを許してくれた親や環境があつたからできたに過ぎません。その受験の競争に参加させてもらえなかつた同級生がたくさん居たことを決して忘れてはいけないと思います。我々の仕事が事業家のみならず、社会に多少とも影響を与えることがあるとすれば、その社会を形づくっている高等教育を受けたくても受けられなかつた多くの人達のことを忘れてはいけないと思います。

俗に言う高学歴を手に入れたとき、俗に言う高学歴を目指す時、一流と呼ばれるキャリアを手に入れたとき、一流と言われるキャリアを手に入れようとしている時、多くの人は、傲慢になつてしまします。そんな時こそ、全体の仕組みを思い出し、人として謙虚な心を取り戻す事が大切です。

受験に専念できる人は、年間5475時間（一日に15時間で計算）ほどの時間を持っています。それに対して働きながらの人は、2555時間（一日7時間で計算）です。

(公式) 優秀さ×資源の多さ＝大学や学部の難易度

↓資源とは

【時間、お金、労力(家庭教師等も含む)】が3大可処分資源に該当します。

勉強に突っ込む事ができる時間・・・勉強記憶、理解時間に投資

お金は、時間、受験併願費用、私立の選択、家庭教師、塾サービス、子供の頃の教育投資、理解の補助としての個別指導、会などの大手進学サービス等、その人の能力開発、学習習慣形成補助、学習環境(机、本、辞書、ファミレスやスターバックスで勉強など)、語学留学、各種教材購入費用に該当

労力とは、広義では、理解にかける労力(の軽減)、狭義では、精神的、及び肉体的な学習に必要な条件のこと。(健康な体で学習ができる条件の事で、当たり前を感じる人も多いかもしれないが、健康を害すと勉強どころではなくなる。理解にかける労力は、学習支援のサービスを利用することで軽減。最短化できる。)

したがって勉強に強いということは、資源が多いか、個人の能力が際立っているかのどちらかの条件の相互作用の結果と言うことができます。時間、資金、労力の3大資源のどれかの内訳が大きいか、個人の能力が際立っているかのどちらかが必要で、片方が少ない場合は、片方が大きければ、補う事も可能です。

慢心の気持ちでいっぱいになる人は例外なく個人的な優秀さの自己拡大が起こっているタイプの人で、ここで紹介した国際弁護士の方とは対照的に、自分が求める結果と、達成した結果を自分の能力によるものと考える人です。その為に両親やお世話になった人、自分自身の出生環境や、自分が賢沢にも勉強をできるということに対する感謝の気持ちが薄れ、他者を見下してしまい、その慢心が原因で人生で大きな失敗をしてしまいます。

この問題を解決する方法は極めて簡単です。謙虚な心を持ち、あらゆることに感謝の気持ちを持ち、毎日を過ごす事です。仁・義・礼・智・信という、5つの徳性を大切にして、毎日を過ごすようにしましょう。すぐにはできなくとも、少しずつそれをしようと努力する事が大切なのです。

く豊かさも貧しさも、両方誇らしく思っている。

受験を取り巻く諸問題は教育の世界ではよく問題にされる事柄です。それでは受験をする側の人はこれらの諸問題をどう捉えるべきなのか？私はこれについては、あえて質問、立てた問いの答えになつていないけれども、中立でフラットである事が肝要だと考えています。問題のすり替えと思う人がいるかもしれませんが、実はそうではありません。

私自身病気で貧しく、お金を親戚に借りる事もできず、働きながら勉強しましたが、その事は私にとってのギフトでした。こうやって受験指導の仕事をする時に、様々な立場の人の人生相談に乗る事ができるからです。難病で闘病生活を送りながら東大の医学部を目指している子も、私のクライアントにはいます。マイナスに思えるすべての条件は、人種や肌の色のようなものです。あくまでも全ての諸問題を自分本位で考えて捉えなおした時、それらの諸条件が自分にとっての目標達成や、人生にどのような意味を与えるのかを考える必要があります。あくまでも目標の達成が前提です。受験などどうでもいいとか、自分の人生などどうでもいいというスタンスなら別ですが、私たちが生きる以上、そのようなどうでもいいというスタンスはありません。

物事を自分主体で捉えなおした時に、何が正しくて何が正しくないのかということは、あまり関係がありません。誰の責任なのか、何がおかしいのかということもあまり関係がありません。自分の感情をコントロールして、世の中に対処していく、適応していくという問題があるだけなのです。

私は自分の病気をモニターする為に、病気の日記をつけていました。また受験や入学に必要なお金の計算や貯蓄を行っていました。何を食えば病気が悪化するのか、どういう構造がこの病気にはあるのか、どのような症例があるのか、精神状態を保つにはどうすればいいのか、様々な医師の本を読み、情報を集め、自分を分析してきました。それは今でも続いています。幸い今は健康な体を手に入れた、健康な体を満喫しています。もしも私が世の中の不公平をねたんでいたら今のような状態にはないでしょう。今では経済面の問題も、健康面の問題も、私の人生から完全に消失しました。

豊かである事も人生のギフトです。その事は傲慢にさえないならなければ誇らしく思ってもいい事です。そして豊かである人はその事による苦労が人生にあるのも事実です。

全ての事柄を自分主体で捉えなおし、豊かである場合も、その反対である場合も、物事を自分の責任と自分の人生として受け止めて、対処していくように考えましょう。感情はフラットに、対処していく事が大切です。